

■令和2年度 総合戦略審議会 書面会議内容

基本目標	事業名	ご意見・ご提案等
	行ってみたい住んでみたい、大刀洗町への人の流れをつくる。 (交流、移住、定住について)	大刀洗町への人の流れをつくる施策として、様々な事業、イベントを考案、実践されておりますが、新型コロナの影響もあり、なかなかスムーズに進んでいない印象です。 今後は、Withコロナで新しい生活様式に沿った実践を今後も継続していかなくてはならないと感じました。
		今期、転入者が転出者を大きく上回っていてKPIを達成していますが、資料を読む限り理由がはっきりしない部分があります。社会増減の要因分析での結果に沿った具体的な施策をしっかりと立てることが大刀洗町の人口増加(定着)に繋がると感じます。
		町への人の流れをつくる。特に子育て世代の移住促進には、「定住促進住宅整備事業」などで大きな成果を上げていると思うが、それに合わせて必要な対策がおざなりになっている。例えば、保育所の待機児童の解消対策。子育て世代が増えれば当然保育園などの受け入れ場所も必要。保育士不足が続く中、各保育園の努力だけでは困難になっている。町を挙げての対策が必要では。また、公園の充実など一的な町の施策が重要と考える。
	地域間連携による「稼ぐ力」・「新たな人の流れ」創出プロジェクト	歴史的に魅力のある地域だと感じていますが、観光資源の有効的な活用が見えてこない部分とこの町に定住したいと思わせる情報発信量が不足しているように思います。
①	レンタサイクル事業	レンタサイクルのコースの充実化が必要だと思う。季節を感じるルートなどがあった方がいいと思います。
		坂道も少なく、自転車には適した地形、密になりにくいレクリエーションということをもっとPRするといいと思う。
		良い取り組みですが私自身、今回はじめて知りました。事業所内の社員にも何人か聞きましたが、ご存知の方はいませんでした。非常に残念です。
		あまりに事業が小規模、2台の自転車で何をしたいのか?やるならやるで、ちゃんとした仕組みや計画が必要。細々としている感じじる。目的を明確にして仕組みを考え、町民や町外利用想定者に情報を届ける努力が必要と思う。
	定住促進住宅整備事業	子育て世代等における町外からの移住の直接的なきっかけになると思いますので、更に戸数を増やす方向を模索してほしいです。(昨年実績100%の為)
	移住定住相談窓口設置事業	役場等の行政においては、一般市民(特に転入希望者)は何処に相談したら良いか悩むことが多いはずなのでワントップ窓口は魅力的だと思います。
	空き家活用総合プロジェクト	空き家を活用したいとのニーズがあるようですね。所有者の関心を引くためには、一定期間、町が借り上げて、新規創業者へ賃貸するなどのスキームを考えてみればと思いました。
		空き家を活用して、1ヶ月ほど生活できるようなことができたらいいと思います。
		空き家専門というのは難しそうな仕事。しっかりとしたフォローが必要と感じた。
		空き家の活用は防犯面でも重要な取り組みであると思います。更に推進できるような体制作りをお願いしたいです。
	移住定住応援B O O K 事業 (T A C H I A L I F E)	空き家は、年々急速に増えている。空き家対策や活用事業は、町の大きな課題と考えます。しかし、現実には事業が進歩していないように感じます。空き家対策は、第1に、空き家を増やさない対策が必要。転出や、独居世帯の死亡など空き家になる要因の家屋の情報を基に、空き家管理の仕組みや管理者への活用の情報提供などほつたらかしにならない仕組みづくりが必要。これ以上空き家を、そして危険空き家を増やさない仕組みづくりが必要と考える。合わせて、空き家を整備して地域の寄り合いの場所を作ったり、移住場所に整備したり様々な場所に活用する取り組みができるのか、その情報発信をすることができないかなどの検討が必要と思う。
		既に、町内には多くの危険家屋があり増え続けているが、手つかずの状態である。空き家の老朽化により、倒壊の危険や火災、防犯上の問題など様々な課題を生じている。地域で安全に安心して暮らせるまちづくりのためにも、積極的な対応ができる体制づくり進めてほしい。
		冊子はどこも同じような気がします。別のアプローチがあった方がいい。あと、どんな年齢がターゲットか分からぬ。
		作成したものをいかに配布し、皆様の目に触れさせるか読んでいただくなは難しいですが、今回の配布数には寂しさを感じます。企業(事業所)等を活用した配布などを検討してはどうでしょうか。
	移住支援金交付事業	東京圏の人口集中の是正は理解できますが、東京圏からだけではなく、大刀洗町の人口増加のため近隣の県、市町村とかでもできないのですか?
		事業があることを知りませんでした。もっと多くの人に知ってもらえるようにPRしてほしいです。
		条件緩和効果を期待いたします。
		漠然と移住を進めるのではなく、どういう人に移住してもらうのかというイメージづくりが必要ではないか。まちづくりとマッチしたイメージづくりと情報発信ができたらと思う。

■令和2年度 総合戦略審議会 書面会議内容

基本目標	事業名	ご意見・ご提案等
	子どもも親も、共に輝けるようにみんなで応援する。 (出産、子育て、学びについて)	安心して出産、子育てができる環境づくりとしての取組みが行われ、効果が出ていると感じました。継続して取り組んでいく事により、「子育て世代」にとっての魅力的な町づくりが実現できると思います。
		産んで育てたいと思える町になることが、住民の増加に繋がるはずなのでこの取組には大きな期待をもっています。今期はコロナ禍で参加者の減少やイベントの中止、延期が多くあり上手くいかなかった事もあったようですが、来期も極端な状況改善は見込めないので対策をもっと具体的にしてもらいたいと感じました。
	こんにちはお母さん事業	利用しない人のケアについて検討を。
		コロナ禍で不安が増大しているはずですので、どうにかコミュニケーションをとる方法を是非模索してください。
	こんにちは赤ちゃん事業	
	出会い創生プロジェクト	イベントを開催するのもいいが、地域の方が“えんむすび隊”をつくって婚活をすすめてもいい気がします。
		出会いと同時に生活するところまでのサポートを視野に入れている計画の様ですので具体策の実行を期待しています。
	イキメン創生プロジェクト事業	企業としても男性従業員の育児休暇取得率向上に向けた取り組み強化を図り、地域と連動して進めていきたいと思います。
(2) 子育て相談事業		1,217人の相談で人員1人では厳しいのではないか。1人増員とのことです、可能な限りの体制強化が必要。
		相談件数の多さにやや驚いています。子ども支援ワーカー増員の予定もあるようですが支援ワーカーの方の負担も減らしながらしっかりした支援が行えるようになることを期待しています。
	子どもへの暴力防止プログラム事業	必ず必要な事業。コロナ禍でもオンライン等で開催数を維持してほしい。
		コロナ禍ではありますが、しっかり実施できる方法を是非模索してください。
	保育士奨学金返済支援事業	誰もに不公平の無い制度構築は難しいと思いますが、次の待機児童支援事業にもつながりますので保育士の確保と定着の為に意味ある要件緩和をお願いいたします。
		更なる制度の周知が必要ではないか。今後の課題に書いてあるように保育士を目指す人や、保育士として働きたいという人への周知が必要と考える。
	待機児童支援事業	「待機児童ゼロ」をうたえると、移住者対策、出生率対策など波及効果が大きい。
		待機児童の問題は、企業として従業員の継続的な就労環境を整えるうえで非常に重要な事項になります。待機児童化及び町外在住者で、町内就業者への適用も検討いただければと思います。
		根本的な解消につながらないので、今は保育所などの環境の充実や、保育士の確保に力を入れてほしい。ただ、この状況は長くは続かないと思うので、ただ、増やすだけでなく長期的な展望に立っての事業推進が望まれる。
	コミュニティ・スクール事業	子どもたちの学力をあげるために、元教員の方などに指導をしてもらった方がいいと思う。また、将来の進路の幅を広げるためにキャリア教育ももりこんでもいい気がします。
		コロナ禍の中、工夫して実施されてきたのだろうということが感じられます。これらの経験を水平展開してもらいたいと感じました。

■令和2年度 総合戦略審議会 書面会議内容

基本目標	事業名	ご意見・ご提案等
		<p>プレミアム商品券事業、R2年度は町・県の多大なる支援、協力により販売額1億円・プレミアム率20%と増額販売することが出来、大いに消費喚起に貢献できたと感じております。地元事業者の売り上げ増加にも大きく寄与しており、今後も事業の継続をお願い致します。ご指摘のとおり販売方法を今後は密にならないように事前予約にて販売したいと考えております。</p> <p>地元産業が今後も発展し、成長していく応援策として企業の資金調達、販路拡大や業務アウトソーシング等のビジネスマッチング、人材紹介や創業支援といったコンサルティング等、金融機関としてのネットワークを活用した各種ソリューション提案を今後も提供させていただきたいと思います。</p> <p>大刀洗町に工場がある企業として、また誘致企業会員企業として協力できる部分があれば協力していきたいと思います。</p> <p>町内の企業や事業所など働く場をもっと町民の方に知ってもらう事が必要ではないか。のために町内の事業所間の連携促進支援や、行政と企業の対話の場の増やすことが必要と考える。また、地域の企業や事業所と町が対話を増やすことで、町づくりに係わってもらうような関係作りができればと思う。</p>
(3)	創業支援事業	<p>三井管内の3商工会（久留米東部・小郡・大刀洗）で例年10月11月12月に創業セミナー、創業塾を開催しております、ご紹介いただければ幸いです。また、大刀洗町で起業できる方へ支援等をご検討頂きたい。</p> <p>大刀洗町で創業する、といラインセンティブ（補助金など）が必要なのではないでしょうか。 空き家活用に創業者を優先的に案内するなどもありかな、と思います。</p> <p>移住も兼ねて、仕事場所を問い合わせにくいIT事業者へのアプローチなど如何でしょう。</p> <p>町の活性化には新規事業を起業する様な心意気をもった方が必要だと思いますので前向きに支援してもらいたいです。</p>
	消費喚起プレミアム商品券発行事業	<p>町内事業者や町民への経済支援に効果があったと思うが、販売方法が今までどおりで、コロナ過の中長い人は1時間半待って購入されていた。とても高齢者など購入が困難で、公平な販売方法とは言えない。販売方法の改善や、多くの人が恩恵を受けるような工夫が必要。</p>
	シルバー人材センター事業	<p>シルバー人材センターは、昔に比べると職の幅が広がっている気がします。そういうところを多くの方に知ってもらえたらしいと思います。</p> <p>高齢者に合った軽作業が町内で見つからないでしょうか。難しいかもしれません。</p> <p>会員の募集と事業の充実、新規事業の開拓が必要と考える。意欲を持って会員になっても自分を活かせる仕がないとやめていくという状況ではないか。対象者が増えても会員数が、中々100名を超えない状況。また、小郡市と大刀洗町では求められる仕事や状況が違うが、一緒の組織なので町独自の事業展開や活動がやりににくいでは。町単独での組織にし、事業によっては小郡市と協力体制で取り組んでいくような改正も1つの方法ではないでしょうか。</p>
	町民参加型マルシェ支援事業	<p>さくら市場はいい取組みだと思います。もっと売り方などを出店者の方を集めて勉強会をやってもいい気がします。</p> <p>近隣自治体への出店依頼の前に、町内で組織したマルシェ隊を送迎して出向いてはいかがでしょう。人口の多い自治体での売り上げ増により意欲の向上、参加者増が見込めるのでは?他市との交流が広がる。すでに実施したらすみません。</p> <p>この事業は、徐々に充実してきたがコロナ禍の影響を大きく受けている。町民と町民をつなぐとても重要な事業だと思う。コロナ禍の終息後は是非また推進してほしい。非常に難しい課題があると思うが、町の特産の野菜や農作物も取り扱えたらもっと素晴らしい事業になると思う。</p>

■令和2年度 総合戦略審議会 書面会議内容

基本目標	事業名	ご意見・ご提案等
		町内巡回バス事業については、移動手段を持っておられない高齢の方にとって、かなり便利な取組みであると思います。試験運行にて利用者も多かったという事なので、費用対効果の問題もあると思いますが、実現に向けて取り組んでいきたいとあります。
	いつまでも暮らしたい、みんなが自慢したくなるまちをつくる。 (つながり、いきいきとした暮らし、安全安心について)	地域の繋がりは町の発展には欠かせない要素だと思いますので、各施策が目標達成できる様なアプローチをお願いいたします。
		核家族化が進み高齢者単身世帯、高齢者のみの世帯が急速に増えている。その高齢者が現在の町の現状で、また将来的にこの町で暮らし続けられるのか?たくさんの課題があると思う。1つは身近に買い物ができる商店がない。特に衣料や日用品など、また、本屋さんや音楽関係など文化的な施設もない。2つ目には医療資源の不足。町内に5つあった病院が3か所になり半分の校区が1つもない。したがってかかりつけ医が町外だったり、校区外になる。また、耳鼻科や眼科などの専門医もない。そして、車がないと生活できない。車の運転ができなくなると町では生活が続けられない。既に町外の子どもの所に行ったり施設に行く人もみられる。高齢者になっても住み続けられるまちづくりを目指してほしい。
(4)	同窓会推進事業	同窓会がきっかけでビジネスにつながることもあるので、多くPRしていいような気がします。
		飲食を楽しめる店舗が町内に少なううなので、コミュニティセンターの開放やデリバリー補助などいかがでしょうか。やっていたらすみません。
	公共空間活性化事業	コロナ禍での開催方法を検討してもらいたいと思います。
		校区センターなどの施設を、高齢者のための施策を行うだけでなく、青年や中高年(中年から老人クラブに入る前の世代)のよりどころ、居場所としての活用を取り組めないか。若者が魅力を感じるようなバンド練習場、運動施設・スポーツ施設、ICTが利用できる施設などを作る。 できるだけ経費が掛からないよう、既存施設の改修時に併設したり、駅と併設したり、JAや空いた事業所の活用(賃貸)を検討したり。田舎だって若者や大人が楽しめるまちづくり。
	たちあらい型健康促進システムの構築	目標達成に向け引き続きお願いします。
		高齢者になって分館体操では遅すぎる。もっと早くからの運動習慣促進が必要。働き方改革と運動して、働き盛り、やる気があるうちから運動に取り組むような同義付けがあれば自然と退職後の取組や高齢者になっての運動習慣へつながり、より効果が期待できる。健康づくりは医療費削減にもつながり結果的に事業費がかからずも財政的効果がある。
	大刀洗町健康ポイント事業	プランディングはいいと思います。ただ、ターゲットが広いのでもっと絞ってやっていくといいかもしれません。
		町外に在住者で、町内就業者へも対象者拡大を誘致企業にPRとありますが残念ながらポスターの配布のみで説明・PRを受けた記憶がありません。内容周知の方法をご検討ください。
	町内巡回バス事業	まだ事業が定着していない。さらなるPRが必要。健康課の事業ではある程度取り組まれているが、ほかの事業ではほとんど利用されていない事業もある。関係機関の連携を強め。PRや啓蒙をしていくことが必要ではないかと思う。
	大刀洗パークアンドライド等整備事業	公共交通機関空白地域が多く存在しているとの認識があります。是非、町内循環バス運行にこぎつけてもらいたいと思います。
	防災土育成事業	町にとってとても重要な事業だと思う。とても担当課が丁寧に、熱心に事業を進められて、非常に評価できる。しかし、1回だけ2か月の実施運転だけで終わってよいのか。今は必要な人が限られても、5年後10年後は確実に必要な人が増える。今後も継続的な取り組みを続けてほしい。
		公共交通空白地域の町民の皆さんにとって非常に重要な整備事業だと思います。町内循環バスと併せて更なる整備の推進をお願いします。
		防災土が少ない気がします。どんなことをするのかなどをPRしていった方がいいと思います。
		過去に経験のない災害がいつ起こっても不思議でない地球環境になっています。女性の地域防災への参加と併せ専門的な知識を持つ防災土の育成支援を充実させ、目標達成に向けて進んでもらいたいです。
		防災土を増やすことが目的ではなく、安心安全な地域づくりのために、どうかかわってもらうか、どのような役割を担ってもらうのかが大切ではないか。その活躍の場づくりや、その仕組みづくりがこれから必要だと思う。

■令和2年度 総合戦略審議会 書面会議内容

基本目標	事業名	ご意見・ご提案等
		みんなで情報を発信することは、広がるのでいいと思いますが、そのコミュニティだけの情報共有になりますがちな気がします。プレスなどを打って、マスコミを巻き込みながらレクチャーを受けた方がいい気がします。
		以前大刀洗町の農業（記憶が定かではありませんが確か果物系だったと思います）の紹介があっており、大刀洗町の地域の特徴の話などがあつていた事を覚えています。今後も大刀洗町の魅力を発信すべく、メディアを利用した施策に取り組んでいけたら良いと思います。
	大刀洗町の魅力をみんなで共有し発信する。 (魅力発見、向上、発信について)	大刀洗町で就業している町外在住者にも情報発信を上手くすることで、町外へも大刀洗町の魅力が伝わる機会が増えてくると思います。
		大刀洗町には様々な豊かな歴史があるのに、全くPRやクローズアップがされていない。取り組まれているのは今村天主堂だけ。また、町の町史は古く、あることを知る人も少ない。昔ながらの本の形でなくとも、読み物や、絵本、マンガ町史、映像での町の町史などのアプローチができるのか。町の歴史や文化財がもっと子どもや市民に親しまれるような取り組みができるのか。市民のための文化財事業という視点も必要だと考える。町の歴史は町の自然と合わせて町の魅力のひとつと思う。 町の花桜の名所や、その他の花マップ、地域歩きマップなど、校区ごと、校区センターごとの取組の支援をしていく。例えば、筑前町のようなゴジラやゴリラ像？などの新しい話題づくりも時には必要では。テレビなどでよく取り上げられるようになったが、話題がマンネリと感じる。平らで障害物のない地域の特性を活かした取組は？パラグライダーやパラーン体験、大会招致。凧揚げ大会などのイベント開催などはどうか？
(5)	特産品掘り起こし事業 (プレミアム大刀洗)	農作物の加工品などを開発して商品を作ることもいいかもしれません。
		主要産業が農業の町だと聞いています。是非、美味しい農作物の出展を進めてください。
		ふるさと納税の返礼品はとても充実していて、担当者の努力が実を結んでいる事業だと思います。これからも継続して取り組みを充実してほしい。
	広報「たちあらい」 つながるコーナー事業	人にピックアップするのはおもしろいですが、何を伝えたいのか分かりづらい気がします。
		広報「たちあらい」について毎月楽しみにしています。事業所に1冊の配布ですのでなかなか全従業員への周知は出来ていませんが、総務等では共有しています。事業所内での共有方法を模索します。
	食・農ツーリズム事業 (F L A T)	今回初めてHPを見ましたが、面白い内容でした。また、当工場の従業員（元工場長）が応援大使として投稿しておりました。引継ぎが出来てなく申し訳ありません。閲覧者を増やす工夫をぜひお願いたいと感じました。
	官学連携魅力化プロジェクト	官学連携はおもしろい取組みだと思います。私も学生のときにはいろんな町の活動に参加させていただきました。ただそれだけで終わるので（モノを作つて終わるなど）、続くようにいろんなテーマを出していいかもしません。
		作成しただけに留まるのではなく、沢山の方に読んで（見て）頂ける環境づくりをお願いいたします。
		近隣の農業高校やJA、県の農業施設など幅広いところとの連携やプロジェクトの検討は考えられないか。
	たちあらい応援大使事業	元工場長が応援大使だったことに驚いています。事業所内での情報共有の無さを申し訳なく感じています。今後、この活動への参加については前向きに検討していきます。
		応援大使同士や町との交流の場があつたらいいと思う。SNSやユーチューブ講座などを開催したらどうか。